

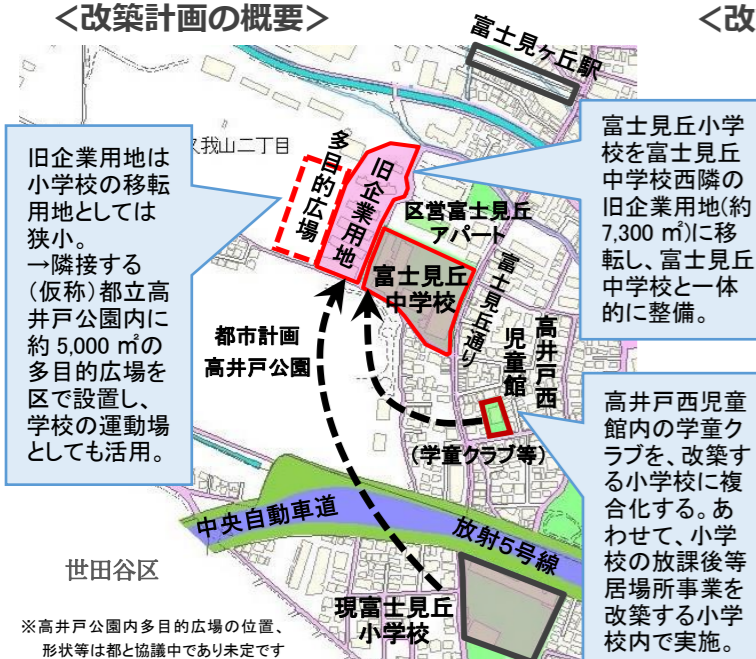
富士見丘小学校・富士見丘中学校 改築基本計画 【概要版】

平成30年12月
杉並区教育委員会

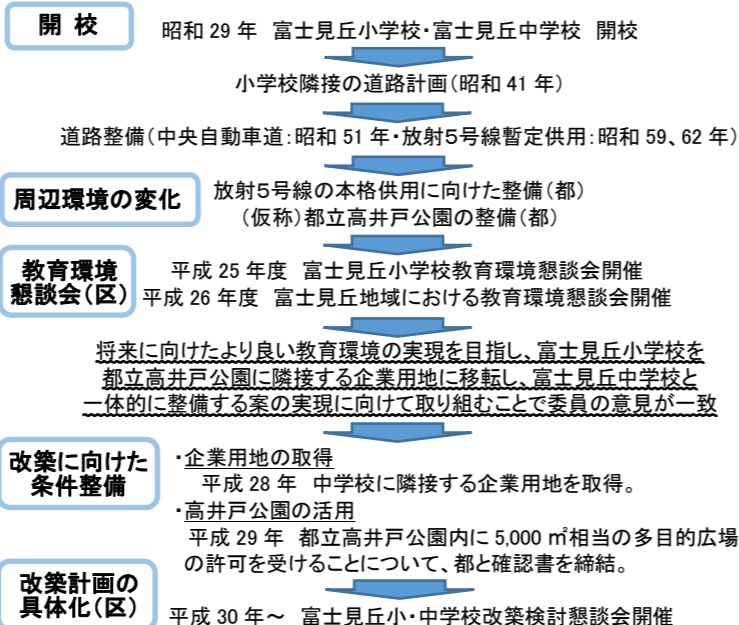
杉並区では、富士見丘小学校と富士見丘中学校の一体的整備について、平成25・26年度に開催した教育環境懇談会のまとめを受け、中学校に隣接する企業用地の取得や（仮称）都立高井戸公園の用地活用に係る取組を進めてきました。

平成30年4月からは、両校にかかわる学校関係者、地域関係者、学識経験者等で構成する「富士見丘小・中学校改築検討懇談会」を開催するなど検討を進め、この度、目指す学校像や新校舎の配置計画等を含む改築基本計画を策定しました。今後は本基本計画を基に、設計等を進め、改築事業の推進を図ってまいります。

<改築計画の概要>

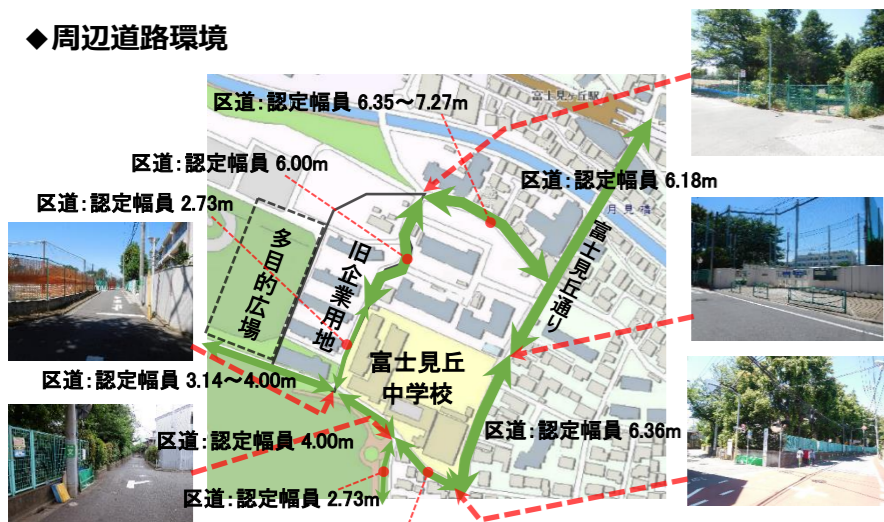


<改築に至る経緯>



<改築基本計画策定にあたっての諸課題>

◆周辺道路環境

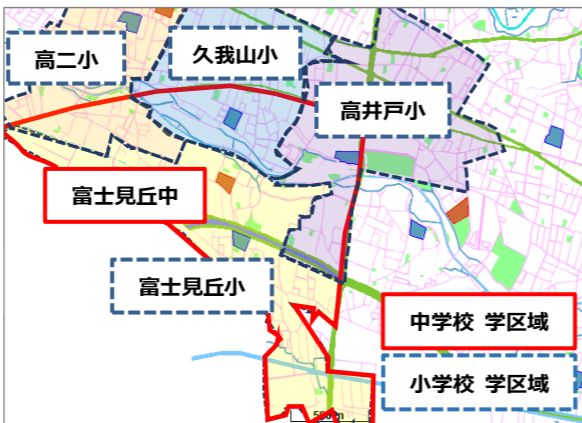


◆敷地の条件

	西側用地 (王子HD宅跡地)	東側用地 (現富士見丘中学校)	2敷地計
敷地面積 (道路後退後)	7,265㎡	9,267㎡	16,533㎡
基準建ぺい率	40%	約44%	約42%
建築可能な建築面積 (同角地緩和後)	2,906㎡	4,059㎡	6,966㎡
	3,633㎡	4,986㎡	8,619㎡
基準容積率	80%	約103%	約93%
建築可能な延べ面積	5,812㎡	9,529㎡	15,341㎡

- 周辺道路は、富士見丘通り及び区営住宅外周を除き幅4m以下となっており、主要生活道路である富士見丘通りと狭い道路の拡幅整備が課題となっています。
- 2敷地は下水管が埋設されている区道で隔てられているほか、敷地の大部分が第一種低層住居専用地域となっており、そうした敷地条件の中で建築を計画する必要があります。
- 富士見丘中学校の学区は、富士見丘小学校を含めて4小学校区にまたがるため、改築検討懇談会では、それら関連校の関係者を加えて議論を行いました。

◆学区域



<計画条件>

区分	面積(㎡)	区分	面積(㎡)	区分	面積(㎡)	施設合計		
小学校部	教室	1,440	中学校部	教室	1,188	小中共用施設	6,410~ 6,661	15,315㎡~15,566㎡ (容積対象面積 15,031㎡~15,280㎡)
	特別教室	712		特別教室	856			
	屋内運動場	824		屋内運動場	1,006	学童クラブ	454	
	プール諸室	100		プール諸室	100			
	管理諸室等	941		管理諸室等	1,018			
小学校合計	4,017	中学校合計	4,168					

児童・生徒数の将来推計に基づき、改築校の規模を、小学校18学級、中学校12学級と想定します。また、『杉並区立小中学校老朽改築計画(H26.5)』に基づき、校舎規模を上表のとおり計画します。

<改築基本方針>

<ビジョン>

【ビジョン1】
これまでの富士見丘小学校・富士見丘中学校の伝統と特色を継承し、個々の小学校・中学校として改築しますが、引き続き高井戸小学校を含めた3校で小中一貫教育に取り組めます

【ビジョン2】
高井戸公園と隣接する周辺環境などを生かして、改築を機に、学習・スポーツ等の環境向上と、あわせて地域防災力の強化を図ります

【ビジョン3】
地域最大規模の公共施設である点を踏まえ、可能な限り小学校・中学校・地域が共用できる施設とするともに、将来に渡って共存し続けられるよう、柔軟で効率的な施設とします

<目標>

目標Ⅰ.
多様な学び・活動の場と質の高い学習環境を備えた学校づくり

目標Ⅱ.
部活動の諸課題を克服し、生涯スポーツの拠点となりうる学校づくり

目標Ⅲ.
地域とともに歩む「新たな公共空間」として、地域の生涯学習を支援する学校づくり

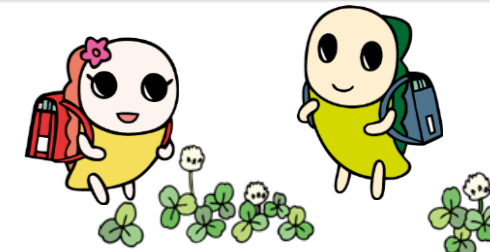
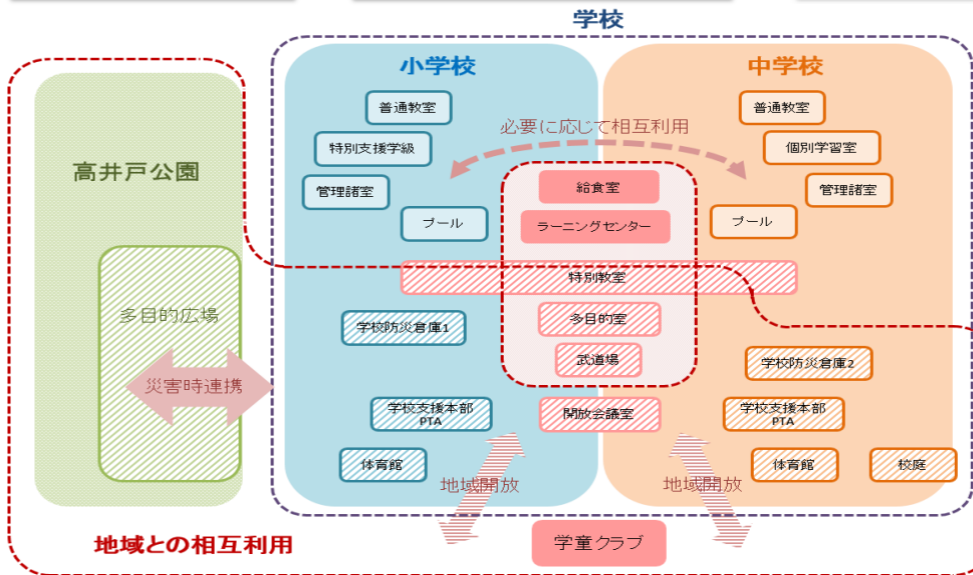
目標Ⅳ.
高井戸公園等の良好な周辺環境と調和した学校づくり

目標Ⅴ.
小学校・中学校の一体的整備の利点を生かすとともに、将来に渡って使い続けられる柔軟で効率的な学校づくり

目標Ⅵ.
立地特性を生かし、安全・安心で、より高度な防災拠点となりうる学校づくり

<取組>

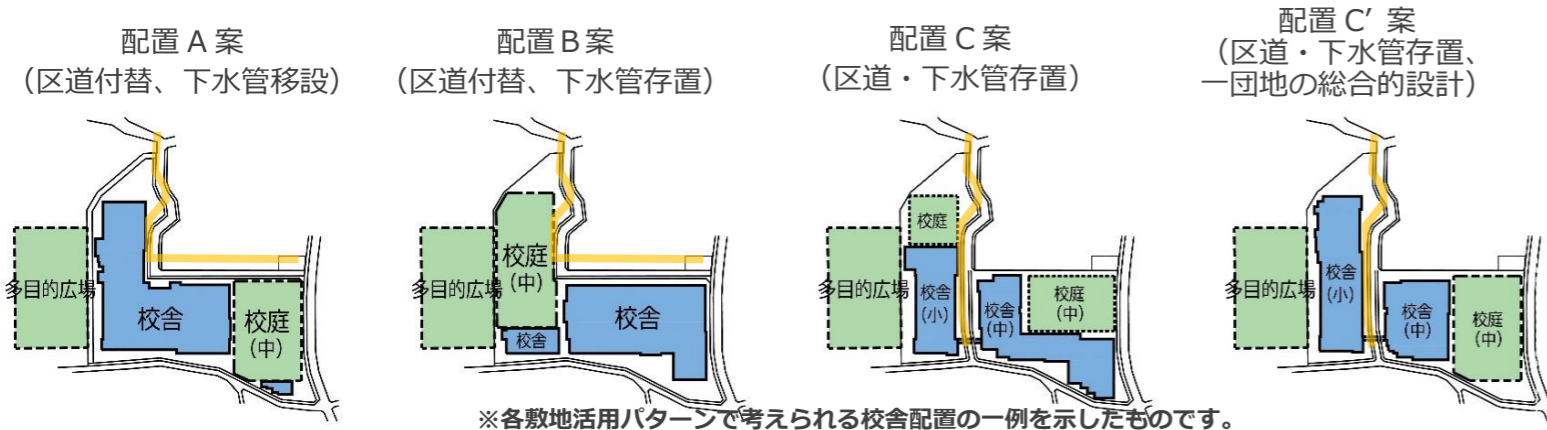
- 取組Ⅰ① コミュニケーションの場となる多目的スペースの確保
- 取組Ⅰ② ICT環境の充実
- 取組Ⅰ③ 集中して学習できる自習スペースの充実
- 取組Ⅱ① 中学校の校庭面積の拡大
- 取組Ⅱ② 校庭や体育館の地域開放の推進
- 取組Ⅱ③ 地域の特格的なスポーツである硬式テニスコートの整備
- 取組Ⅱ④ 多用途に活用可能な体育館設備の整備
- 取組Ⅲ① 学校諸室の地域開放の推進
- 取組Ⅲ② 開放会議室の設置
- 取組Ⅲ③ 学校支援本部室の設置
- 取組Ⅳ① みどりあふれる良好な環境の積極的な活用
- 取組Ⅳ② 高井戸公園内の多目的広場を活用した運動環境の向上
- 取組Ⅳ③ 公園や神田川に近接した立地を踏まえた景観形成
- 取組Ⅴ① 小学校・中学校の領域を分けた独立性の高いゾーニング
- 取組Ⅴ② 一部諸室を小・中で共有化し多様な学習環境を提供
- 取組Ⅴ③ 学童クラブの校内配置と小学生の放課後等居場所の実施
- 取組Ⅴ④ 簡素で効率的な施設設計と維持管理コストの削減
- 取組Ⅴ⑤ 将来の児童生徒数の変化等に対応できる柔軟性の確保
- 取組Ⅵ① 学校専用部分と地域開放領域に配慮したゾーニング
- 取組Ⅵ② 広域遊樂場所と隣接した環境を考慮した防災機能の強化
- 取組Ⅵ③ 多様な利用者に配慮した施設計画
- 取組Ⅵ④ 敷地の外周道路等の整備を通じた地域の安全性向上
- 取組Ⅵ⑤ 安心して子どもたちが通える学校づくり



改築検討懇談会での意見交換を通じて、目指す学校像や改築に当たっての基本的考え方を、3つのビジョンと6つの目標及び23の取組として整理しました。今後、設計等を通じて具体化を図っていきます。

<施設整備計画>

新校舎の施設計画に当たっては、中学校地と旧企業用地（小学校移転用地）が区道によって2敷地に分かれており、また区道下には下水管本管が通っていることから、区道の付替えの有無や下水管の移設の有無等により、4つの配置パターンを示し、改築検討懇談会で意見交換を行いました。



※各敷地活用パターンで考えられる校舎配置の一例を示したものです。

<今後の課題>

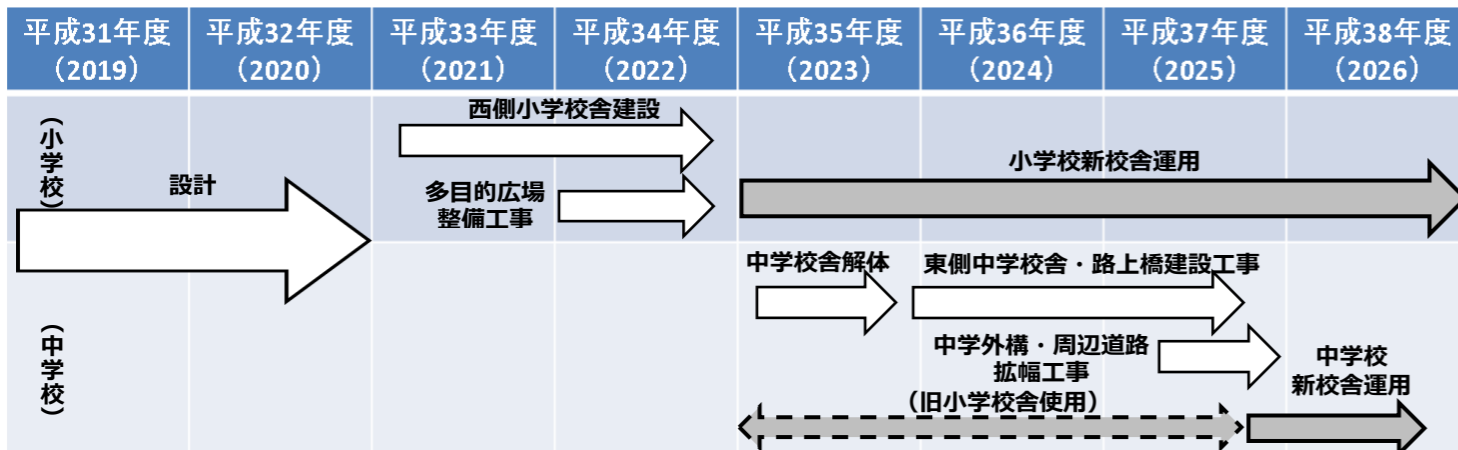
<今後の取組の方向性>

懇談会との意見交換を踏まえ、必要な諸室面積やまとまった校庭面積を確保できるとともに、教育環境、道路・防災・周辺住環境への影響、整備コスト等の面でも総合的に優れていることから、両敷地の建築物を総合的に設計し一団の土地として活用するC'案を目指します。

今後は、懇談会でのご意見等も踏まえ、設計や必要な許認可の取得等を進め、富士見丘小学校・富士見丘中学校の教育環境の向上に取り組みます。

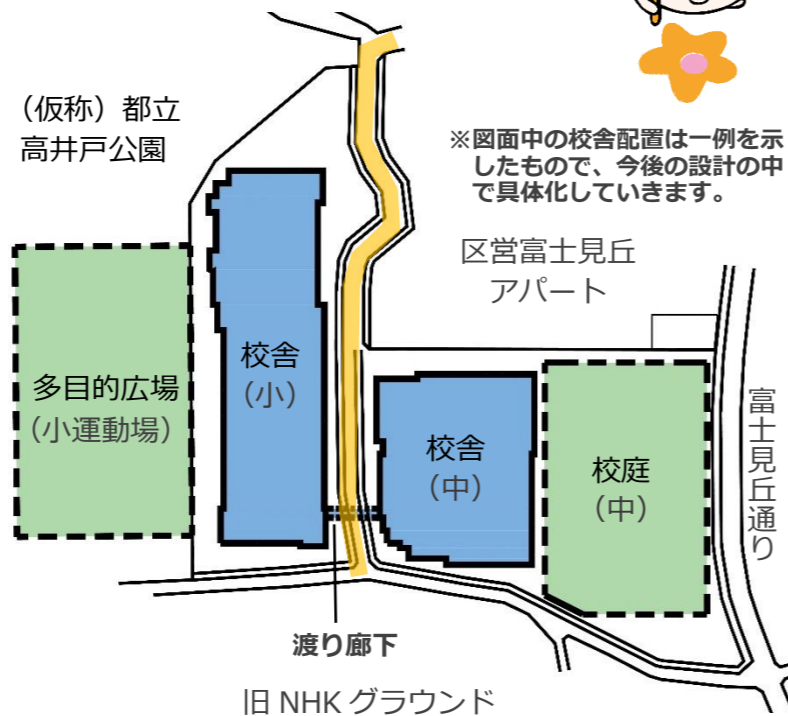
◆一団地の総合的設計（C'案）について
建築基準法では「一敷地一建物」が原則ですが、複数の敷地の建物を総合的に設計し、建築物の位置及び構造が安全上、防火上及び衛生上支障ないと認められる場合に、例外的に一団の土地を建築物の一つの敷地にあるものとみなす制度です。

◆C'案の場合に想定される改築スケジュール



※今後のスケジュールは、必要な許認可や発注手続き等によって変わる可能性があります。

◆C'案の場合の配置イメージ



※図面中の校舎配置は一例を示したもので、今後の設計の中で具体化していきます。

<改築検討懇談会での検討経過>

回数	日時・場所	主な内容
第1回	平成30年4月23日(月) 午前10時～12時 @富士見丘中学校 視聴覚室	○富士見丘小学校の特色等 ○富士見丘中学校の特色等 ○富士見丘小・中学校の改築について
第2回	平成30年5月18日(金) 午後1時～5時 @事例視察	○施設見学(品川区立豊葉の杜学園) ○施設見学(杉並区立杉並和泉学園)
第3回	平成30年6月21日(木) 午後3時～5時 @富士見丘小学校 特別活動室	○敷地条件と標準建物面積等 ○改築基本計画(たたき台) ○改築かわら版の発行
第4回	平成30年7月30日(月) 午前10時～12時 @富士見丘中学校 視聴覚室	○改築校の想定規模 ○改築基本方針(案) ○敷地活用・施設配置 ○通学距離等の課題
第5回	平成30年8月21日(火) 午前10時～12時 @富士見丘小学校 特別活動室	○改築基本方針(案) ○施設配置の比較検討 ○通学路について
第6回	平成30年9月26日(水) 午前10時～12時 @富士見丘小学校 特別活動室	○改築基本計画中間まとめ(案) ○通学路について ○C'案の配置・平面イメージ(たたき台) ○今後の進め方
第7回	平成30年12月4日(火) 午前10時～11時 @富士見丘小学校 特別活動室	○中間まとめ説明会・意見募集での主な意見等について ○改築基本計画(案) ○今後の進め方

富士見丘小・中学校改築検討懇談会の構成

(順不同、敬称略)

団体名等	氏名	団体名等	氏名
富士見丘小学校 PTA	布施 匡章	高井戸小学校 PTA	大熊 涼子
学校運営協議会	杉本 文生	高井戸小学校 校長	師岡 孝明
学校支援本部	平田 敬子	高井戸第二小学校 PTA	日高 雅代
青少年委員・富士見丘町会	岡田 美津江	高井戸第二小学校 校長	前田 佐和子
校長	沼田 操	久我山小学校 PTA	浅野 由美
副校長	高橋 裕之	久我山小学校 校長	筒井 鉄也
富士見丘中学校 PTA	落合 春江	上高井戸町会	飯塚 郁夫
学校運営協議会	長 俊介	富士見丘アパート自治会	河合 進
学校支援本部	宮原 弘美	宮前地区町連	大熊 昌敏
青少年委員	巖瀬 敦子	富士見丘商店会	永井 邦夫
校長	渋谷 正宏	高井戸西学童クラブ	幸本 亜紀子
副校長	横田 和長	首都大学東京名誉教授	高見澤 邦郎

<今後の取組課題>

<「安心して通える学校づくり」に関連した区取組の方向性>

- 一部地域からは複数の幹線道路を越えて通学する児童もいることから、関係機関と連携してハード・ソフトの両面から通学路の安全確保策について検討します。
- 一部地域で通学距離が長くなる児童もいることから、居住地や子どもの体力等に応じて就学先や通学手段を選択できるよう、指定校変更や公共交通機関の利用などについても柔軟な対応を検討します。

<今後の進め方>



※建築計画や工事施工に当たっては、関連条例等に則り各種説明会等を開催するほか、適宜「改築かわら版」を発行し、改築計画の周知を図ります。